

情勢報告（平成27年4月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

おおのみエコロジーファーマーズ（中土佐町）総会



3月26日、中土佐町役場大野見庁舎で、平成26年度総会が開催され、9名が参加し次年度は特別栽培米「四万十の清粒 特裁大野見米」の栽培面積を増やし、販売にさらに力を入れていくことが確認されました。
振興センターは、平成26年産米の収量・品質分析結果を示すとともに、次年度用栽培暦の内容について確認しました。
今後は、栽培指導とともに、販路拡大についても支援していきます。

梶原町で「明野地農林組合」設立！



4月5日、梶原町影野地・大野地集落において梶原町で3番目の集落営農組織となる「明野地農林組合」の設立総会が開催され、8名が参加しました。
今年度は水稻の作業受託に取り組み、将来的に林業の作業受託にも取り組みます。
振興センターは、平成26年度から梶原町とともに集落での話し合いの支援や組織体制を検討してきました。
今後は、初瀬区の集落協定代表者から提案があった所有機械の共用について、有効な活用方法を検討していきます。

J A津野山シントウ部会「若手生産者」個別面談



3月27日及び30日、J A津野山営農センター輝で営農指導員と一緒に3名の面談をしました。生産者ごとに前年の生育状況や栽培の問題点などカルテをもとに説明しました。またJ Aの出荷実績を参考に次作の目標収量や栽培管理の改善点などを共有しました。
今後は、現地検討会や現地巡回指導で若手生産者の経営安定を支援します。

J A土佐くろしおミョウガ部会「出荷目慣らし会」



着色具合を確認する生産者

4月10～17日、大間、浦ノ内、上ノ加江の各集出荷場において12回開催され、延べ217人が参加しました。
J A販売課が販売報告と出荷調整の注意点を説明した後、出荷規格に沿って色合いを中心に、生産者が等階級を確認しました。
振興センターは、今年の日射量の推移を示し、曇雨天が続く場合の管理のポイント及び栽培上起こりがちなトラブルについて対策を指導し、注意を喚起しました。
今後は、J Aと連携して腐敗防止対策について指導を行います。

J A土佐くろしおインゲン部会「出荷目慣らし会」



4月12、13日、久礼支所、上ノ加江支所の各出荷場で目慣らし会が開催され、延べ16名が参加しました。

果形や果色、傷の有無などを生産者及び作業員全員で確認し、それぞれの選別基準の統一を図りました。

振興センターは、今後の天候を見越した早めの病害虫対策を指導しました。

今後は、現地巡回で安定生産を目指します。

J A土佐くろしおシントウ部会「出荷場巡回」



4月14日、ハウスシントウ部会員5名が管内の出荷場5ヶ所(葉山、杉ノ川、床鍋、安和、久礼)を巡回し、JA、生産者、作業員がそれぞれ意見を出し合い、より良い生産現場を目指した取り組みが行われました。

振興センターは、5月の連休に向けて増加する出荷量に対して安定した出荷体制の維持ができるよう指導しました。

今後もJAと連携し、収量・品質の向上に取り組めます。